

事務事業名	子育て世帯生活支援特別給付金給付事業	所属部	子ども政策局	所属課	子ども家庭支援課			
総合計画体系	政策名	〈Ⅲ〉支えあい健やかに暮らせるまち〈保健・医療・福祉〉	所属G	子ども家庭支援G	課長名	白築 香		
	施策名	〈25〉子育て支援の充実	担当者名	野々村 悟史	電話番号	0854-40-1067 (内線) 2262		
	目的	対 象 A)子どもの保護者と産み育てたい夫婦 B)乳幼児・児童・生徒(0~18歳) 意 図 A)安心して子育てができる。 B)心身ともに健やかに育つ。	予算科目	会計	款	大事業	大事業	子育て世帯生活支援特別給付金給付事業
	基本事業	〈073〉経済的支援の充実		項目	中事業	中事業	子育て世帯生活支援特別給付金給付事業	
目的	対 象 保護者等 意 図 子育てに係る経済的負担が軽減される。		1	0	0	5	0	1

1 現状把握【DO】

(1) 事務事業の概要

① 対象(誰、何を対象にしているのか)	② 意図(対象がどのような状態になるのか)
ひとり親世帯	新型コロナウイルス感染症による影響が長期化する中で、子育て世代の雇用動向が悪化しており、失業や収入減少の中で子育ての負担も担わなければならない低所得のひとり親世帯の生活を支援する
③ 事業内容(期間限定複数年度事業は全体像を記述)	
事業期間 ■ 単年度のみ □ 単年度繰返 (年度 ~) □ 期間限定複数年度 (年度 ~ 年度)	新型コロナウイルス感染症による影響が長期化する中で、低所得のひとり親世帯に対し、児童一人当たり一律5万円の子育て世帯生活支援特別給付金を支給する ① 令和4年4月分の児童扶養手当が支給される方 ② 公的年金等を受給しており、令和4年4月分の児童扶養手当の支給が全額停止される方 ③ 新型コロナウイルス感染症の影響を受けて家計が急変するなど、収入が児童扶養手当を受給している方と同じ水準となっている方
④ 主な活動	⑤ これまでの改革・改善経緯
R4年度実績(R4年度に行った主な活動) 子育て世帯生活支援特別給付金の支給	(この事務事業に関してこれまでどのような改革改善をしているか?) 本事業は、令和4年度単年度事業である。 ※令和3年度においても、同様の子育て世帯生活支援特別給付金(児童一人当たり5万円)を支給し、ひとり親世帯の支援を行った。

(2) 事務事業の指標

成果指標	単位	R2年度(実績)	R3年度(実績)	R4年度(実績)	R5年度(計画)
ア 支給世帯	世帯			208	
イ 支給児童	人			322	
ウ 給付額	千円			16,100	
エ					

(3) 事務事業のコスト

① 事業費の内訳 (R4年度決算)		② コストの推移		単位	R2年度(決算)	R3年度(決算)	R4年度(決算)	R5年度(計画)
通信運搬費	20千円	財源内訳	国庫支出金	千円			16,143	
手数料	23千円		県支出金	千円				
交付金	16,100千円		地方債	千円				
			その他	千円				
			一般財源	千円				
		事業費計		千円	0	0	16,143	0

2 事後評価【SEE】

① 事業実績における成果	新型コロナウイルス感染症の影響により、子育てと仕事を一人で担う低所得のひとり親家庭に対し、給付金を支給することにより、低所得のひとり親世帯を支援することができた。
② 事業実施するうえでの課題	申請書の書き方がわかりにくく、丁寧に説明をする必要があった。
③ 課題解決に向けた改革改善等	国事業のため、申請書の変更はできない。